

## ⑪ 神田上水懸樋（掛樋）跡

江戸で最も早く整備された水道といわれる神田上水を、神田川をまたいで供給するため、木製の樋を架けた（懸樋）場所。懸樋によって南は京橋川、東は永代橋より大川（現在の隅田川）以西、北は神田川、西は大手町から一橋門外まで供給された。



## ⑩ 神楽坂

江戸時代は上州道と呼ばれ、江戸と川越方面を結ぶ交通の拠点であった。江戸中期から毘沙門天善國寺に訪れる参拝客で賑わい、明治から大正にかけて花街として栄えた。尾崎紅葉や泉鏡花、夏目漱石などが居を構えた地としても知られ、文人が活躍する舞台でもあった。

## ⑫ 御茶ノ水駅

JR中央線・総武線、地下鉄丸ノ内線・千代田線が交わる御茶ノ水駅周辺は、江戸時代に神田山を開削して造られた人工の深谷である。その名は、開削時に高林寺の庭から良質な水が湧き、徳川家のお茶をたてる水として献上されたことから付けられた。



## ① 有楽町駅

1910年に開業にした有楽町駅は、東京駅より古く、新橋駅まで続くレンガ造りの高架鉄道橋は日本最古。諸説あるが、その名は織田信長の弟、織田長益の茶名有楽斎に由来するといわれている。



# 快汗ウォーキングコース

## 有楽町駅から御茶ノ水駅まで 外堀通り周辺を探訪しながら 歩く半日コース

JR有楽町駅中央口前広場には、「名奉行大岡越前」で知られる南町奉行所跡の石碑がある。

## ② 数寄屋橋公園

外堀通りと晴海通りが交わる数寄屋橋近くにある公園。江戸城外濠に架けられた橋の名前で、それを証明する石碑も立つ。公園内には、時計の文字盤が顔になっている岡本太郎の作品「若い時計台」が設置されている。



## ③ 土橋交差点

外堀通りと御門通りが交差する交差点で銀座コリドー街に通じる場所。かつては汐留川にあった橋の名前で、その後造られた新しい橋が新橋である。汐留川の埋め立てによりいずれも廃橋となった。

## ④ 虎ノ門金刀比羅宮

1660年に丸亀藩主が香川県にある金刀比羅宮の御分霊を芝・三田に勧請し、1679年に現在の地に遷座。大物主神と崇徳天皇が祀られ、海上守護、五穀豊穡・招福除災の神として古くから尊信される。鳥居に施されている四神の彫刻も見どころ。



## ⑥ 弁慶橋

江戸城を建造した弁慶小左衛門から名付けられた橋。もとは神田の鍛冶町から岩本町を流れる藍染川に架かっていたが、川が埋められる際に撤去され、1889年に現在の場所へ。現在は改築されたが欄干や擬宝珠は当時のものが残されている。



## ⑤ 日枝神社

もとは鎌倉時代に江戸氏が川越に山王宮を祀り、1478年に太田道灌が江戸に勧請したことが始まり。1590年に徳川家康が江戸城を居城とする際、城内鎮守の山王社として崇敬された。御祭神である大山咋神が山の神であることから、神使は「神猿」と呼ばれる猿が境内に置かれている。



## ⑦ 清水谷公園

この公園周辺は、江戸時代に紀州徳川家と井伊家の屋敷があり、その間が谷であったこと、清水が湧き出していたことから清水谷と呼ばれていた。また、この付近で大久保利通らが暗殺された歴史もあり、公園内には哀悼碑が設置されている。



## ⑧ 四谷見附橋

四ツ谷駅のホームをまたぐ新宿通りにある橋。江戸時代は四谷見附門があり、甲州街道へつながっていた。初代の橋は都内最古の陸橋で、隣接した迎賓館と調和が取れるようネオバロック様式の装飾が施されていた。現在の橋は1987年に架け替えられたものだが、当時の面影を残した造りとなっている。



## ⑨ 市谷見附

「見附」とは交通の要所に設置された見張り所を指し、江戸城には36カ所の見附門があったといわれている。その一つである市谷見附門は、現在の見張り所ともいえる JR 市ヶ谷駅東口の交番裏に石垣の一部が残されている。



Walking Course

- コース距離：10.2 km
- 歩行時間：3時間40分

- ① 有楽町駅 ↓0.4km
- ② 数寄屋橋公園 ↓0.6km
- ③ 土橋交差点 ↓1.2km
- ④ 虎ノ門金刀比羅宮 ↓1.0km
- ⑤ 日枝神社 ↓0.7km
- ⑥ 弁慶橋 ↓0.2km
- ⑦ 清水谷公園 ↓1.1km
- ⑧ 四谷見附橋 ↓1.1km
- ⑨ 市谷見附 ↓1.3km
- ⑩ 神楽坂 ↓1.8km
- ⑪ 神田上水懸樋（掛樋）跡 ↓0.8km
- ⑫ 御茶ノ水駅